

「学術研究助成報告書」を刊行しました

公益財団法人国土地理協会は、地域社会の特性、伝統文化の表現である地理・地名・地図等について、調査研究を行うとともに、これらの情報・資料の提供を通じて、住民による地域文化の創造、振興への取組みを助長し、もって地域の振興に寄与することを目的として昭和26年4月に設立されました。

上記目的に基づき、本助成は、公益財団法人国土地理協会が平成13年度より、地理学および関連する分野の学術的調査・研究に対して実施しているもので、平成24年度の第12回までで、応募総数631件中、83件の調査・研究に助成金を交付することができました。その集大成として、今回第10回および第11回の研究成果の一部を「学術研究助成報告書」として刊行いたしました（A4判カラー、110ページ）。

助成対象となる調査・研究は、1. 地理学および関連する分野の学術的調査・研究、2. 地図・地名に関する学術的調査・研究、3. 上記1・2に関連した東日本大震災からの復興に関連する調査・研究または自然環境の維持・保全・向上を通じての農林水産業への寄与に関する調査・研究としております。

審査基準として、すでに軌道にのり継続的に行われている研究よりも、新たな視点に立つ意欲的な研究を優先し、また、研究資金面で比較的優位な地位にある方よりも、研究ポテンシャルが高い割には研究資金に恵まれない研究者を優先しております。また、前述しましたように、東日本大震災からの復興に関連する調査・研究についても考慮して審査を行っております。

本報告書は、平成22年度の第10回および23年度の第11回の成果論文をとりまとめております。第12回以降の成果論文につきましても、継続して書籍化していく予定としております。

本書は定価700円（税別）で販売も行っております。詳しい内容は弊会HPをご覧ください。

学術研究助成報告集



URL <http://www.kokudo.or.jp>

※上記に関するお問い合わせ・・・総務部へ（☎03-3433-1561）



栃木市と岩舟町が合併し、 平成26年4月5日に新「栃木市」誕生

新栃木市は、14万6,667人の栃木市と1万8,089人の下都賀郡岩舟町の合併によって人口16万4756人となり、足利市を抜いて宇都宮市・小山市に続く県下第3位の人口となります。（人口は『住民基本台帳人口要覧』による。）

この岩舟町と栃木市の合併は決してスムーズだったわけではなく、かなりの紆余曲折がありました。その一部を、岩舟町を中心に紹介します。

平成15年に大平町、岩舟町、藤岡町の3町による「大平町・岩舟町・藤岡町合併協議会」が設置され、17年1月1日を目標とした新設合併の準備が進められます。16年1月に、合併による新市名称が「みかも市」に決定されますが、同年3月、新市庁舎の位置などをめぐり調整がつかず、大平町、岩舟町、藤岡町3町による新設合併が断念されました。

4年後の平成19年7月、今度は栃木地区1市5町（栃木市、大平町、岩舟町、藤岡町、都賀町、西方町）での合併へ向けた栃木地区広域行政圏首長懇談会が設置されます。翌20年7月、岩舟町で合併先を問う住民投票が行われ、上記の「栃木地区1市5町での合併」を、新たな選択肢である「佐野市との1市1町での合併」が上回るという結果が出ます。これを受け、岩舟町は合併協議が進められていた栃木地区1市5町での合併構想から離脱、同年12月、佐野市、岩舟町の1市1町による「佐野市・岩舟町合併協議会」が設置されました。しかしこの合併協議会も、21年3月、合併方式などをめぐり調整がつかず休止となりました。

同年8月、当面の間の自立を推進していた現職町長の解職請求（リコール）の是非を問う住民投票が岩舟町で行われ、賛成票が有効投票の過半数を占めました。結果、「佐野市・岩舟町合併」を主張する新町長が誕生し、翌22年2月、佐野市・岩舟町合併協議会が再開されます。

同年3月、「栃木地区1市5町での合併」の、岩舟町以外の1市4町（栃木市、大平町、藤岡町、都賀町）の新設合併により（新）栃木市が発足します。同年9月、栃木市議会で、栃木市・岩舟町合併協議会設置議案が可決されますが、岩舟町議会では、栃木市・岩舟町合併協議会設置議案は否決となりました。

翌23年1月、栃木市との合併協議会設置の是非を問う住民投票が岩舟町で行われ、賛成5,963票、反対4,843により栃木市との間に合併協議会の設置が決定されます。これを受けて同年8月、住民に合併についての意思を問う住民投票が3択で行われ、結果は「栃木市と合併する」が6,485票、「佐野市と合併する」が5,037票、「合併しない」が280票となりました。これを受けて、同年10月31日付で佐野市・岩舟町合併協議会の廃止が決定します。

そして平成25年2月、栃木市との間で合併協定が調印され、栃木・岩舟両市町の議会にて合併関連議案が全会一致で可決されます。このような紆余曲折を経て、平成26年4月5日に新「栃木市」誕生となるわけです。

栃木

県庁所在地：宇都宮市埴田1-1-20
人口：2,010,934人 世帯数：786,704 面積：6,408.28㎢
県木：トチノキ 県花：やしおつつじ 県鳥：オオルリ



「栃木市」について

人口 146,667人(外国人住民を含む)*
世帯数 54,334世帯(外国人世帯を含む)*
面積 284.83km²
隣接自治体 佐野市
鹿沼市
壬生町
下野市
小山市
野木町
岩舟町(旧)

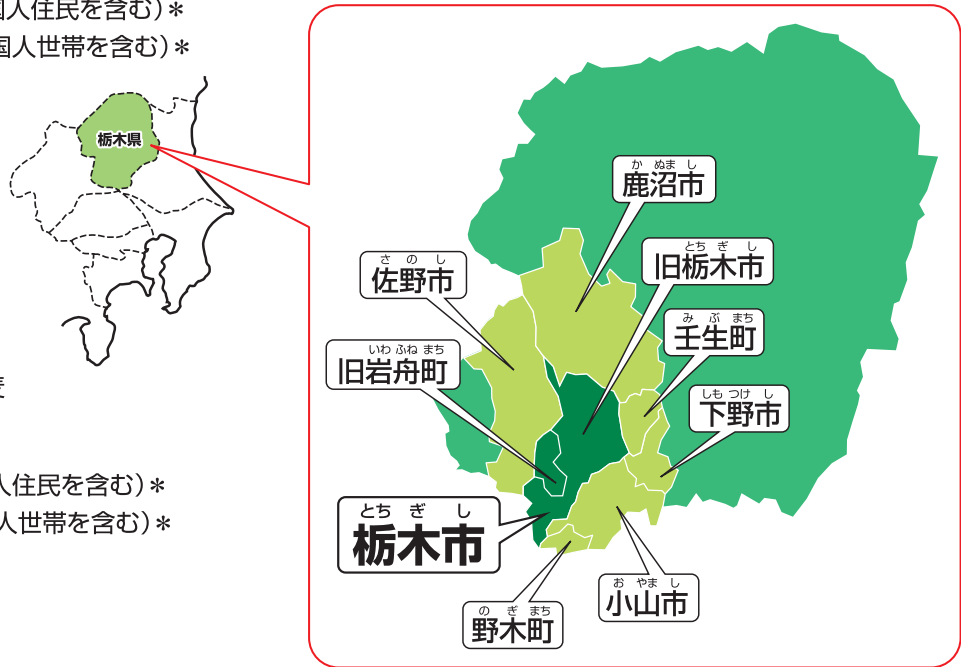
特産品 イチゴ、ブドウ、蕎麦

「岩舟町」について

人口 18,089人(外国人住民を含む)*
世帯数 6,366世帯(外国人世帯を含む)*
面積 46.74km²
隣接自治体 栃木市(旧)
佐野市

特産品 ブドウ、花

*国土地理協会発行
『平成25年版 住民基本台帳人口要覧』を参照



平成の大合併とは、市町村の合併の特例に関する法律（合併特例法）（平成16年法律第59号）に基づいて、1999年4月から2010年3月までに行なわれた市町村合併の総称です。今回、岩舟町が編入合併される栃木県では、下記のような合併が行われてきました。

1994年4月には13市30町16村、計59自治体がありましたが、2014年4月5日には、14市11町の25自治体となります。

新 市 町 村 名	年 月 日	旧 市 町 村 名	人口(人)	世帯数	面積(km ²)
宇都宮市(うつのみやし)	2007.03.31	(編入) 宇都宮市、河内郡上河内町・河内町	516,546	218,850	416.84
足利市(あしかがし)	—	-	154,585	64,305	177.82
栃木市(とちぎし)	2010.03.29	栃木市、下都賀郡大平町・藤岡町・都賀町			
	2011.10.01	(編入) 栃木市、上都賀郡西方町			
	2014.04.05	(編入) 栃木市、下都賀郡岩舟町	164,756	60,700	331.57
佐野市(さのし)	2005.02.28	佐野市、安蘇郡田沼町・葛生町	123,182	49,170	356.07
鹿沼市(かぬまし)	2006.01.01	(編入) 鹿沼市、上都賀郡栗野町	102,093	37,498	490.62
日光市(にっこうし)	2006.03.20	日光市、今市市、上都賀郡足尾町、塩谷郡栗山村・藤原町	89,129	36,337	1,449.87
小山市(おやまし)	—	-	164,590	65,475	171.61
真岡市(まおかし)	2009.03.23	(編入) 真岡市、芳賀郡二宮町	81,494	28,764	167.21
大田原市(おおたわらし)	2005.10.01	(編入) 大田原市、那須郡湯津上村・黒羽町	73,988	27,144	354.12
矢板市(やいたし)	—	-	34,675	12,982	170.66
那須塩原市(なすしおばらし)	2005.01.01	黒磯市、那須郡西那須野町・塩原町	118,761	46,356	592.82
さくら市(さくらし)	2005.03.28	塩谷郡氏家町・喜連川町	44,194	16,156	125.46
那須烏山市(なすからすやまし)	2005.10.01	那須郡南那須町・烏山町	29,235	10,625	174.42
下野市(しもつけし)	2006.01.10	河内郡南河内町、下都賀郡石橋町・国分寺町	60,034	21,996	74.58
河内郡(かわちぐん)			31,488	10,823	
上三川町(かみのかわまち)	—	—	31,488	10,823	54.52
芳賀郡(はがぐん)			68,046	23,130	
益子町(ましこまち)	—	—	24,617	8,558	89.54
茂木町(もてぎまち)	—	—	14,722	5,106	172.71
市貝町(いちかいまち)	—	—	12,340	4,225	64.24
芳賀町(はがまち)	—	—	16,367	5,241	70.23
下都賀郡(しもつがぐん)			65,786	24,700	
壬生町(みぶまち)	—	—	39,823	14,886	61.08
野木町(のぎまち)	—	—	25,963	9,814	30.25
塩谷郡(しおやぐん)			42,934	15,574	
塩谷町(しおやまち)	—	—	12,609	4,032	175.99
高根沢町(たかねざわまち)	—	—	30,325	11,542	70.90
那須郡(なすぐん)			45,418	16,119	
那須町(なすまち)	—	—	26,899	10,002	372.31
那珂川町(なかがわまち)	2005.10.01	那須郡馬頭町・小川町	18,519	6,117	192.84

地図地理クイズ！

クイズ 一般

「今回は、第20回地図地理検定の問題からの出題です。」

問 下の写真は、都道府県の形をしたパズルの、北海道のピースが入っていた場所に、北海道以外の12の都府県のピースを入れたものです。この中に入っていない都府県はどれですか。下の①～④のうちから1つ選びなさい。なお、ピースは一部を省略している場合があります。

- ①宮城県 ②茨城県 ③群馬県 ④富山県



地図地理検定

基礎的な「一般」と、さらに高度な「専門」の2クラス！

地図の知識を豊かにし、地図を楽しく読み、
地理に親しむための検定です。

2014年6月22日（日）全国7会場で検定実施

「一般」13:30~14:20 受検料 3,000円 / 学割・リピーター割 2,000円

「専門」15:00~16:00 受検料 4,000円 / 学割・リピーター割 3,000円

学割は検定当日に身分証（学生証等）の提示をお願いします。リピーター割は2回以上連続または中1回空けて受検する方

申込締切 インターネット：2014年6月5日 / 郵送：2014年6月12日

主催：（一財）日本地図センター・（公財）国土地理協会 お問合せ先 TEL:03-3485-5417

詳しくはホームページをご覧ください

一般＆専門両方受ける方には併願割引もあります

NEW!

「専門」では、実践的能力を問う
“記述式問題”を出題!

地図地理検定 申込 検索

団体受検
受付中!!